

川内原子力発電所 温排水影響調査結果の概要

[平成29年度冬季（30年2月）調査]

平成30年8月17日
水産振興課

1 調査結果の概要

温排水の拡散範囲は、放水口の周辺に限られており、また、水温・塩分・流況や主要魚類及び漁業実態については、過去の調査結果「昭和58年度（発電所稼働開始後）～平成28年度」の変動の範囲内であった。

2 調査の目的

安全協定書に基づき川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を的確に把握する。

3 調査の体制

調査は「鹿児島県海域モニタリング技術委員会」の指導、助言のもとに県水産技術開発センターが実施した。

4 調査内容および実施時期

表1 平成29年度冬季調査・主要魚類及び漁業実態調査一覧

調査項目	調査の内容	調査実施時期
1 水温・塩分	(1) 水平分布	平成30年2月15日
	(2) 鉛直分布（水温のみ）	平成30年2月15日
2 流況	(1) 25時間調査	平成30年2月15日～2月16日
	(2) 15日間調査	平成30年2月14日～3月1日
3 主要魚類 及び 漁業実態	(1) イワシ類（シラス） バッチ網漁獲量	平成29年1月～12月（周年）
	(2) マダイ・チダイ ごち網漁獲量	平成29年4月～12月